

# 野田九条通信

2013年9月 93号

「野田・九条の会」事務局

TEL 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

## 九条改憲を

### 許さないために

野田・九条の会は、8月3日定例会を開き、参議院選挙で自民党の躍進を許してしまった現実を踏まえ、これからの九条の会の運動の取り組みについて話し合った。長期展望で取り組むために、今の九条の会の会員が反論の体力をつけること、そのための勉強の機会を作ろうということになりました。

そして、若い人たちへの呼びかけとして、自分たちがやらなければという意識を持ってもらおう。話を聞くだけよりも、自分が話す場を作ることが良いのではないか。など意見が出ました。

十一月から二月までの間に二回勉強会を持つ。対象は九条の会賛同者。憲法学者や労働問題の活動家などに交渉することになりました。お楽しみに。



## 平和のつどい

### のべ500人の市民が集う

#### 《平和ってどんなこと》

せんそうをしない

ぼくだんなんか おとさない

いえや まちを はかいしない

だって、だいすきな ひとに

いつもそばにいてほしいから

いやなことは いやだって、

ひとりでも いけんが いえる

わるいことを してしまったときは

ごめんなさいって あやまる

どんな かみさまを しんじても

かみさまを しんじなくても

だれかに おこられたりしない

へいわって ぼくが うまれて

よかったって いうこと



浜田桂子作品

『へいわってどんなこと』から

### 今月の予定

- ☆9月1日(日) 13時15分～ 南部梅郷公民館  
DVD 伊藤真弁護士と学ぶ『憲法改正ってどういうこと?』  
主催 南地域9条の会
- ☆9月7日(土) 14時～ 中央公民館講座室  
野田・九条の会 定例会 野田・九条の会
- ☆9月8日(日) 14時～ いちいのホール  
朗読劇「あの夏を忘れない」 主催 野田文化研究会
- ☆9月9日(月) 16時～17時 愛宕駅線路際にて  
九条の会アピール 電車に向かってボードで九条をアピール
- ☆9月24日(火) 10時～ 中央公民館講堂  
原発事故から2年半 食品の安全・子どもの健康をどう守るか  
～調査から見えてきたこと～ 講師 大石光伸さん  
主催 放射能汚染から子どもたちを守る会

18日行われた絵本作家浜田桂子さんの講演「平和ってどんなこと」は、子どもから私たち大人まで優しくスーと心に入ってきました。約100人の聴衆は浜田さんの言葉に聞き入りました。日中韓3国の絵本作家が共通の認識に立って作った絵本の第一号です。今3つの国はとかく緊張を高めるような動きがある中で、お互いの市民が手を結ぶ大切さが強く優しく語られました。よかつた・の声があちこちで。

そのほかそれぞれの催しや展示も昨年より人が多かつたとの感想がありました。開催にあたって皆様のご協力ありがとうございました。

# 九条の眼 自民党・安倍内閣 なりふり構わぬ教育への政治介入

第一次安倍内閣で、「教育基本法」を改悪し、改憲への布石を打った安倍首相。国民の懸念をよそに今内閣での改憲に並々ならぬ意欲をみせています

同時に「子供たちには自虐的な歴史観に基づく歴史教育ではなく、日本の伝統、文化、歴史に誇りを持てる教科書にしていかなければならない」と教科書検定基準の改悪に着手していることも見逃せません。教育をめぐる状況は、急速に悪化しています。

## ● 首長が教育長を任命・罷免 教育への政治介入に道

4月、政府の「教育再生実行会議」が、自治体の長が教育長を任命、罷免できるようにし、教育長に地方教育行政の権限と責任を集中して担わせるとする教育委員会改革の提言をまとめました。このほか、自治体に法令違反があった場合、国が是正を指示できるように国の権限を強化することも盛り込まれています。

今回の提言は、戦前の反省に立って教育行政が政治に左右されず中立性、安定性を確保できるように首長から独立させた教育委員会制度を否定し、教育への政治介入に道をひらいたものです。すでに大阪では教育委員会の廃止が考えられており、事態は深刻です。

そもそも今年1月安倍首相の意向で政府が設置し、沖縄の集団自決で軍による強制はなかったと主張する作家の曾野綾子氏、「新しい歴史教科書をつくる会」元会長の八木秀次氏などの「有識者」が参加している「教育再生実行会議」なるものが、国の教育の在り方にかかわる重要な位置を占めていること自体非常に由々しい事態です。

## ● 国定教科書づくりをめざす 「教科書法」制定か

6月には安倍首相の指示で、自民党の「教育再生実行本部」の下に設置された「教科書検定の在り方特別部会」が、検定を通っているにもかかわらず実教出版を含む教科書会社3社の社長・編集担当役員を呼びつけて南京事件や「慰安婦」記述などについて問い詰めるなどした末に、「多くの教科書に自虐史観に立つなど問題となる記述がある」と指摘し、「出版社が独自に判断している現状を改め、記述す

べき事項を国が示す案などが盛り込まれた教科書の基本的な在り方を定めた『教科書法』の制定や教科書検定でアジア諸国に配慮する「近隣諸国条項」の見直しをまとめています。

この『教科書法』は、教科書の編集・検定・採択の全体を国が統制し、事実上の「国定教科書」づくりを目指す、「教科書国家統制法」であると、「子どもと教科書ネット」が警告しています。さらにもし、この法案が国会に上程されれば、現在の国会の状況では、短期間の審議で容易に可決されてしまう危険性があるとし、国会上程を阻止する大きな運動を全国的に作り上げることを呼びかけています。

## ● 高校日本史教科書の採択に不当介入

7月、神奈川県教委が実教出版の高校日本史教科書の採択を希望した28校に、取り消して別の教科書で報告しなすよう、校長に圧力をかけるということが起きました。校長が「かえなかったら右翼がおしかけてくる」などを理由に教員に圧力をかけるなどし、28校すべてが希望変更をしました。県教委は「最終的に採択を決めるのは学校ではなく教委なので、不当ではない」としていますが、これまで学校の希望が覆ったケースはありません。

6月にも東京都教委が同じ教科書に関して「同じ理由で「都立学校等において使用することは適切ではない」と決めつけ、「指摘した教科書を選定した場合は、不採択とすることもありうる」として、都立学校宛てに通知しています。

これは学校現場への不当な支配介入で絶対に許されるものではありません。

8月、松江市教委が市内の小中学校の図書館に漫画『はだしのゲン』の閲覧制限を求めていたことが明らかになりました。さすがにこれには抗議が殺到し教育委員会が各学校への閲覧制限の要請を撤回するにいたりましたが、これも教育をめぐる一連の動きと連動しているにちがいません。

取り戻そう、教育を  
権力の不当な支配から！！